

# 令和4年度 第2回国分寺市高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画評価等検討委員会 会議録

令和4年8月23日(火)  
午後6時30分～午後7時58分  
いずみプラザ 講座室2～4

## 委員会次第

- 1 開会
- 2 議題
  - ① 国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価について(資料1)
- 3 報告
  - ① 介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票(令和3年度)について(資料2)
  - ② 第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について(資料3)
- 4 閉会

## 出席者等(敬称略)

委員長…… 本多 勇  
副委員長…… 富井 友子  
委員…… 升田 範夫, 富樫 美紀, 八木 亜希子  
事務局…… 福祉部長(横川), 高齢福祉課長(澤田),  
計画・事業推進係長(佐瀬), 介護保険係長(北田), 相談支援係長  
(川口), 計画・事業推進係(小野), 計画・事業推進係(大嶽)

## 1 開会

省略

## 2 議題

### ①国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価について

本多委員長… 前回の評価等検討委員会に引き続いて、高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画進捗状況評価についてです。前回、基本目標2の最後まで確認をいたしましたので、今日は基本目標の3から5までをいきたいと思います。冒頭に事務局から全体的な説明を頂いて、その後でディスカッションをし、まとめていくという形で進めたいと思います。

それでは、事務局からの御説明どうぞよろしくお願いいたします。

佐瀬係長… それでは、国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価について、前回の続きから御説明させていただきます。今、委員長からお話がありましたとおり、前回の評価等検討委員会で基本目標2まで御確認いただいておりますので、基本目標の3からになります。

資料1の35ページをお開きください。基本目標3「少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める」の施策の方向1「地域福祉を進めるために」です。重点事業としては二つあります。①生活支援・介護予防サービス体制整備の推進については、市や生活支援コーディネーター、地域の関係団体で会議を開催してサービス提供体制整備についての協議を行うものになります。指標としては二つで、第1層協議体の開催回数と第2層協議体の設置数となります。それぞれの目標値に対して実績が下回ってしまっており、進捗状況はCとしています。

②地域ケア会議の効果的な運営については、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような支援体制の構築等について所掌している会議になります。指標としては5つあり、地域ケア会議の中に個別の部会や地域ごとの小地域ケア会議というものがあまして、それらの開催数がそれぞれ指標となっています。目標値に対して実績は8割以上となっていることから、進捗状況はB評価としています。36ページ、次のページに取組状況を一つ記載しています。地域福祉に関して意見交換や情報共有の場として設置している60人ほどの委員からなる地域福祉推進協議会の取組状況となります。

以上の事業の状況を踏まえまして34ページの施策評価票に戻っていただき、令和3年度の進捗状況評価としては、重点事業はどちらも目標値を下回ってしまっていますが、体制整備の推進には取り組んでいるということがありますので、その他の事業についても適切に実施できていることから「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向1「地域福祉を進めるために」についての説明は以上となります。

本多委員長… 35ページから36ページまでの3項目が施策の方向1「地域福祉を進めるために」の内容です。御意見や気づいたところ等あればお願いします。

私から1点伺います。①の会議回数が少なかったというところでCという評価になっていますが、会議の目的は果たしているのかがポイントかと思いますがいかがでしょうか。

川口係長… 協議体というのは、既存のものを活用してでもというところで地域住民の方や企業の方、お店の方などと一緒に地域の見守りをはじめ地域住民同士が活動し合えるような体制を、支え合いのところを作っていくみたいなところが協議体なのですが、その協議体の設置が非常に難しくなっております。結局高齢者の生活支援の協議体ではあるのですが、地域は年代を分けるわけではないので、やはり子どもからお年寄りまでになってしまいます。それはいいのですが、逆に言うと広がり過ぎて絞りきれなくなっていてある地区では発展的解消をしてしまったということもあります。迷走はしているものの、非常に皆さんで頑張ってはくれているという状況で、C評価ということについては、悔しいというか、非常に難しいところでございます。

本多委員長… 国分寺市では地域のミーティングが多いと思います。地域包括支援センターとか地域福祉コーディネーターとか、そこに町会があったりすると町会を絡めてということもあると思います。これは生活支援コーディネーター、介護予防等に関わる部分での会議が協議体という言い方をされていて、その協議体の看板をかけた会議が少なかったというふうに取りれるのですが。

升田委員… この項目の「進捗状況に関する補足」のところに「コロナ禍で思うような活動の実施ができなかった」とあります。正当な理由があったのですからそれはそれなりに評価して良いのではないのでしょうか。ただ数字的な意味だけでC評価をつけなくても、こういうやむを得ない理由の場合はCにするほうがおかしいのではないかと思います、いかがでしょうか。

佐瀬係長… 前回の評価等検討委員会の時に御説明させていただきましたが、資料1の1ページにある評価票の説明にあるとおり、進捗状況評価のA、B、Cについては機械的に評価しております。①の指標で考えますと、目標値は4と6で合計10になります。それに対して実績値は3と3で合計6となり、6割実施したということになります。80パーセント以上達成できなかったものは基本的にC評価と機械的にしているものですから、<sup>じくじ</sup>忸怩たる思いの中でCとさせていただいているということになります。一方で、委員会でいただいた御意見については、施策評価票の「検討委員会意見」に記載させていただき、その上で令和5年度の評価の際に令和3年度と4年

度の評価を加味して、市として第8期全体の最終的な評価を行うこととなりますので、御意見として取りあえずこちらに書かせていただければと思います。

升 田 委 員… CでなくてもBダッシュとかそういうのでも、Bのマイナスぐらいで良いのではないですか。

佐 瀬 係 長… ありがとうございます。

本 多 委 員 長… コロナ禍であったということと、協議体という形だけではなく地域福祉に関するいろいろなミーティングが行われていることからすると、質的にはCという評価ではないのではないかという意見があったということでしょうか。それでは、施策の方向1はそのような附帯の意見がありつつ全体的には御提案のとおりということで、確定したいと思います。

では次に参りましょう。施策の方向2「市民活動・ボランティア活動の活性化に向けて」、説明をお願いします。

佐 瀬 係 長… 施策の方向2「市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて」です。38ページを御覧ください。こちらの施策の方向については重点事業を設定していません。取組事業は4つあり、老人クラブの支援や介護支援ボランティアといった高齢者の活動に関する事業の取組状況を記載しています。これらの事業の状況を踏まえて、1ページ前の37ページの施策評価票に戻っていただき、令和3年度の進捗状況評価としては、活動に関する事業のため新型コロナウイルス感染症の影響を受けてしまっているのですが、感染対策を取りながらも事業を実施できていることから「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向2「市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて」についての説明は以上となります。

本 多 委 員 長… 38ページに取組事業ということで4項目載っています。何か御意見はあるでしょうか。ボランティアそのものがコロナ禍で、社会福祉協議会のボランティアセンターも非常に苦勞していると聞いています。令和2年度から令和3年度は外出しないでみたいな感じもあったので厳しかったのかなと思います。

升 田 委 員… ②老人クラブの支援のところで、「会員増強に向けた活動への支援等を行った。」と書いてありますが、老人クラブはほとんど機能していないのではないかと考えています。実は老人クラブに入ろうかと思って電話してみたのですが、「ほとんど動いていません」みたいなことを言っていました。それから老人クラブでどういう活動しているかが一切見えない。市報を見ても代表の名前しか載っていない。できればまとめて一つでもいいから老人活動グループ、市の全体で何か行動するとか、活動できるように、動けるチームを作って引っ張っていかないと老人クラブは機能しないのではな

いかなと思っています。ただクラブに所属している人数で判断するのではなくて、活動量とかどういうイベントをどのように行うかということをも市としてもサポートしてほしいなと思います。この評価ではないかもしれませんが。

本多委員長… 評価ではないですね。

升田委員… だからそういう評価になってくれるといいかもしれない。

本多委員長… そういう課題があった時に、市は後押しするのですか。ボランティアセンターがするのですか。

佐瀬係長… 市としては老人クラブに対する一番の支援として、補助金を支出しています。補助金の申請の中で、どのような活動をしているかということはもちろん確認しているのですが、私の知る限りでは活動できていないというわけではなくて、しっかり活動されていると思います。今年度、令和4年度については、各クラブの集まりである、全体の老人クラブ連合会というものがある、その連合会の大きなイベントとして、ペタンク大会やカラオケ大会を実施していました。さらに、芸能大会も今後実施する予定になっていて、いろいろ活動はされている状況にはなっています。

升田委員… 動いているクラブは動いているのでしょうか。活動しているのが年に1回とかなのではないですか。

佐瀬係長… 先ほどお話ししたペタンク大会などは、本当に大きな大会、それぞれ各老人クラブ全部が参加する大会なので100人以上の規模で行う大会になります。

升田委員… それぞれの老人会は動いていないのではないですか。

佐瀬係長… いや、普段の友愛活動などいろいろな活動の御報告については頂いているので、全く活動していないということはないはずですよ。

升田委員… 2, 3年前に電話して、「どういう活動をやっているのですか」と聞いたら「ほとんど動いてない」というようなことを言っていたので。

佐瀬係長… 確かに今までよりは活動ができていない部分もあったりして、補助金は支給しているのですが、やっぱり年度当初に計画していたものが出来なくなってしまっていて最終的には減額して申請するクラブもありますので、なかなか例年どおりに活動できていない状況というのは確かにあるはずですよ。

升田委員… 問合せしたら参加を推奨するような言い方をしなかったのです。

本多委員長… それでは、今年の秋以降参加が活性化することを祈りつつ。

そのほかはどうですか。市民それぞれの自発的な活動が中心だから、市がやれと言ったってなかなか簡単な話ではないのかなと思います。

佐瀬係長… 先ほどの老人クラブへの支援の補足ですが、もう1点、市が行っている支援として会員の新規獲得のためのPRを行っております。例えば市報に各クラブの紹介を全クラブ分掲載したり、市のホームページに掲載したり

しております。しかし、委員長がおっしゃったとおり、市の事業ではない部分がありますので、どこまでやるかというのはちょっと難しいところなのですが、支援としてはそのようなことを行っております。

八 木 委 員… 結構各老人クラブの方から、例えばACPの講演をしてほしいとか在宅医療とはというものとか、その講演をしてほしいという御依頼があって、お受けしたことも何件かございます。

升 田 委 員… それはいいですね。老人クラブは地域にあるので、市全体の総合老人クラブのほうが参加しやすいと思います。地域で縛られていると余計なことまで分かるから嫌だという人が結構いるみたいで。隣近所ではただ挨拶する程度という感じの人が多くて、町会費も払いたくないという人も結構いるし、そういう人は隣に住んでいるけれどもという感じだからね。市全体の老人クラブというものを作って希望者があちこちから参加できるほうが良いのかなと思いました。すみません。脱線しました。

本 多 委 員 長… 升田委員みたいに自分から電話してという人はいろいろなところに連絡してどういう状況が分かるのかもしれない。一方で、声をあげられない方もいると思うので、その方々にこういう情報が、こういう実践があると届けるのは市のバックアップの一つなのかなと思います。

では、よろしいでしょうか。施策の方向2「市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて」はおおむね市の評価のとおりということではよろしいかと思えます。

次は基本目標の4、施策の方向1「自己の充実に向けて」ということです。よろしくをお願いします。

佐 瀬 係 長… 基本目標4「高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める」、施策の方向1「自己の充実に向けて」になります。40ページを御覧ください。こちらの施策の方向について重点事業は設定していません。取組事業を、40ページから41ページにわたって5つ記載しています。生涯学習や体育施設の使用といった高齢者の個人の活動に関する事業の取組状況となります。これらの事業の状況を踏まえて39ページの施策評価票では、令和3年度の進捗状況評価として感染対策を取りながらも事業を実施できていることから、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向1「自己の充実に向けて」の説明は以上となります。

本 多 委 員 長… 何か御意見があるでしょうか。先ほどの3-2と内容がちょっと重なっていますかね。生きがいつくり、仲間づくりの事業が中心です。いかがでしょうか。公民館活動、スポーツ施設、市民大学講座などですね。あとは再掲になっています。よろしいですか。特に大きな指摘事項はなしということで、意見のとおりということ。ちょっとずつこういう活動も増えてき

ているのかなという気がします。

では意見どおりということで確認したいと思います。

升 田 委 員… ちょっといいですか。③地域での生きがいつくり・仲間づくりは、重点事業のほうが良いのではないですか。数字でチェックして見える化したほうが、課題が分かって解決して事業の進展が進むと思うのですね。数値化できないものを数値化するのは良くないですが、数値化できるものまで重点事業から外すのはちょっとやり過ぎじゃないかなという感じです。ここには数字の項目がないじゃないですか。

本 多 委 員 長… 前は数字があったのですか。

升 田 委 員… 前はこの「自己の充実へ向けて」は数値項目ばかりですよ。

佐 瀬 係 長… 事務局で重点事業から外した理由というのが、そもそも数値化できないかではなくて、市としてこれを重点事業として重視していくのだということで重点事業として、計画策定の際に設定しています。もちろんこれ以外にもおそらく数値化できる取組事業はたくさんあると思います。これに限った話ではなくて、単にこれが今期の計画策定時に、重点事業として設定するものからは外れたというだけの話であって、数値化できるかどうかというのがものさしではなかったということになります。

升 田 委 員… 逆に言うと、取組事業であっても数値化できるものはちゃんと数値化をしたほうがいいのではないですか。今、公共事業とか行政とか政府はみんな見える化を進めようとしていますよね。見える化を進めるということは、数値で取れるものはできるだけ数値で取るというのが原則だと思います。どうしても数値が取れないものを無理矢理やるのはおかしいですが、取りやすいものなのに取らないのは、何か余計なことを外したがるような感じに見えてしまうし、市民として見たときに数字で見えるほうが分かりやすい。重点事業でなくても数字を出したっていいのであれば数字を出してほしいなと思います。取組状況の中に数字での記載が入っているように見えるから、数字で出してもらったほうが良いと思います。今後の問題でもいいですが。

佐 瀬 係 長… この議論については前回の評価等検討委員会でも行ったと思うのですが、計画策定時にそういうふうになってしまっているものがあります。ただ、確かに事務局としても評価がやりづらいということがあると思います。したがって、次期計画、第9期のときにはその辺を意識して検討していきたいなと考えています。

升 田 委 員… もう一つ言いたいことがあって、計画を作ったのは高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会ですよ。そこで作ったものを評価等検討委員会で検討するのはおかしい。策定検討委員会のメンバーが評価等検討委員会へ来て説明していただいて、計画の組立てはこうですけどど

うですかと投げかけてもらって、それについて評価等検討委員会から意見を言えるようになればこういうことはなくなりますけど。計画を作った人が別でいて、決まってしまった後に評価する人が意見を言おうとしても既に動いているから変更できない。もっと言うと、介護保険運営協議会でやるべきではないかなという感じです。介護保険運営協議会がメインなのだから。別で計画の策定検討委員会があるのだったら、介護保険運営協議会で全部話をしてもらってそこで決めるのが本来ではないですか。一番よく検討しているのは介護保険運営協議会じゃないですか。それを知らないと言ったら失礼かもしれないし、どれぐらいの時間かけて計画を作ったか分かりませんが、計画の策定検討委員会で作ったといっても、だったら評価等検討委員会へ来てちゃんと説明してくださいと言いたいね。次回以降ですけど。どうでしょう。言っていること違いますか。

富井副委員長… 御指摘のところは理解できます。介護保険運営協議会のメンバーが計画の策定委員会を兼ねている自治体のほうが実は多いのではないかと。今回国分寺市の体制を伺ったときに、策定検討委員会の方と介護保険運営協議会の方が、メンバーとしてはそこまで重複していないのですが、それが市の特徴なのだろうなと思って伺っていました。あとは市民の方がそれをどう捉えるかということかと思えますので。それはまた別のところでの議論かなと思います。そういう御意見があるというのは理解できます。

升田委員… 条例か何かで決まっているのですか。どこの市区町村もこうなのですか。

佐瀬係長… ほかの自治体について把握できていないのですが、この計画策定の体制の基礎になったのが2期前の第6期計画策定で、地域福祉計画という大きな計画を作るときに、各福祉の計画も全部一緒に策定しました。そのときに、先ほど基本目標3で出てきた地域福祉推進協議会で全部の計画をそれぞれ部会に分かれて策定したと聞いています。その流れで策定検討委員会が別になっている状態です。ただ、頂いた御意見についてごもっともな部分もあると思いますので、今後はちょっと検討するところはあるのかなと。

升田委員… 本来は下から積み上げていって、上で最終的に決めてもらうのが良いと思います。やっぱり現場の人の意見が一番入っているのが介護保険運営協議会だと思いますので。

佐瀬係長… 第6期のときにはちょうど全部の計画が策定年度でしたので、それで大きな塊でやったようです。

升田委員… 分かりました。次回できるんだったら検討してください。

本多委員長… 計画を作った人とその振り返りをする人が違うというのは、確かに何でこうなのかというのはあります。確か子どもの計画のときもそういう印象があったので。



富井副委員長… 最初に御意見をおっしゃっていた見える化の話なのですが、①の取組状況は非常に分かりやすく、回数も団体数も全て書いてあって、このように書いていただければと思いました。②や③は開催することが目的なのか、参加者数がどれくらいあることが良いのか、ちょっと評価しづらいところもあり、何とも言えないなと思って拝見していました。①のように書いていただくとありがたいかなと思います。

本多委員長… 課が違くと、書く人の担当が違ってセンスが違って来るから難しい部分がありますが、各担当課に自己評価の原稿提出を依頼するときに「こういうふう書いてね」みたいなモデルがあるのとないのとでは違って来るのかなと思います。公民館課も本多公民館ではこれくらいの講座があって延べとか全体で何人くらい参加したかみたいなのが簡単にでも載っていると規模感が分かりますよね。

では、この「自己の充実に向けて」の項目については意見どおりということを進めます。

続いて施策の方向2「高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために」ということをお願いいたします。

佐瀬係長… 施策の方向2「高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために」です。43ページを御覧ください。こちらの施策の方向についても重点事業は設定していません。取組事業を3つ記載しています。シルバー人材センターや人材バンクといった自分の経験を生かした社会貢献につながる事業の取組状況となります。これらの事業の状況を踏まえて、1ページ前の42ページの施策評価票では、令和3年度の進捗状況評価として、いずれの事業も適切に実施できていることから「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向2「高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために」についての説明は以上となります。

本多委員長… 御意見ございますか。シルバー人材と人材バンク、再就職セミナー等の情報提供の内容です。これもまた自己評価していただいた課のセンスの違いが取組状況に表れていますが、事業が後退したという雰囲気はなさそうです。実際に促進を図っているだけで何人就職したのかとかは、市ではきっと分からないだろうから書きにくいのかなとは思いますが。

では、意見どおりということによろしいでしょうか。ただ、升田委員がおっしゃるようにどれくらい効果があったのか、人数なのか後押しした回数なのかちょっと分かりませんが、何かちょっとあると良いと思います。社会教育課は人材バンクに27人の登録があったと書いていますが、どれくらい増加したかはこの記載からは分かりません。でも、おおむね進んだ方向だということで、検討委員会意見としては意見のとおりでということ

とでよろしいかと思えます。

では、施策の方向3「様々な世代との交流に向けて」。お願いします。

佐瀬係長… 施策の方向3「様々な世代との交流に向けて」になります。45ページを御覧ください。こちらの施策の方向についても重点事業については設定していません。取組事業を二つ記載しています。公民館や児童館での異世代交流に関する事業の取組状況となります。これらの事業の状況を踏まえて1ページ前の44ページの施策評価票では、令和3年度の進捗状況評価として、いずれの事業も実施できていることから、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向3「様々な世代との交流に向けて」についての説明は以上となります。

本多委員長… 御意見があればどうぞ。評価が難しいですね。これだけ公民館やボランティアで若い人と高齢者が関われる時間があつたとしても、果たして交流ができたか評価できるのかちょっと分かりません。とはいえ、そういう場を設定するというのは良い方向なのかなと思います。これもよろしいですか。意見どおりということで進めたいと思います。

次は基本目標5の施策の方向1「誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために」ということでお願いします。

佐瀬係長… 基本目標5「高齢者を支える人材を確保・育成する」の施策の方向に入らせていただきます。施策の方向1「誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために」になります。47ページを御覧ください。重点事業としては一つ、ケアマネジャーへの支援です。ケアマネジャーが抱える課題等について、地域包括支援センターを通して助言や支援を行うものになります。地域包括支援センターでのケアマネジャー相談対応件数を指標としていて、目標値2,800件に対して実績2,210件となっており、進捗状況としてはBとしています。48ページには取組事業を6つ記載しています。主にケアマネジャーや介護職員への情報提供や研修、負担軽減等の取組となります。これらの事業の状況を踏まえて46ページの施策評価票では、令和3年度の進捗状況評価としてケアマネジャーへの支援については相談件数が目標値を下回っていますが、件数に現れない部分で工夫を重ねているところから、「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向1「誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために」については以上となります。

本多委員長… 御意見があればどうぞ。これは高齢福祉課の事業が中心です。何か御意見ありますか。

富井副委員長… ①について、相談件数を指標として設定して、そこに達したから良いものなのかというところがあります。ケアマネジャーの実力が上がっていて相談件数が減っているのであれば、それは評価されるような話になりますので、そもそもこれに適しているのか。何割で評価されるようなそういうものなのかというところに疑問がありますが、いかがでしょうか。

本多委員長… 何か補足があればお願いします。

川口係長… 例えば虐待は児童も高齢者もですが、件数が増えると「何か施策が足りない」と言われ、件数が減ると「早期発見できていない」と言われるという矛盾を抱えております。私もこの仕事をしつつ計画の数値化というのが、先ほどの見える化のお話であった見える部分は良いと思うのですが、これは本当にいつも悩みどころで、富井副委員長がおっしゃったとおりケアマネジャーの実力も上がってきているので、一度聞いたことは多分二度聞かないと思いますので、減っていくというのもあるのだろうなというのがあるので、設定はしたものの非常に悩みどころではあります。

本多委員長… 答えは出ません。難しいですね。

富井副委員長… 御担当から見てケアマネジャーの対応のスキルは上がっているという感触があるということですよ。それは評価される点ではないかなと思います。そもそもケアマネジメントの向上が一番の目標なので、あくまで担当の方の主観としかこの場では言えないかと思うのですが。

本多委員長… 富樫委員、何かありますか。

富樫委員… おそらくこの施策の方向それぞれが基本目標に関わってくるものであって、基本目標3の小地域ケア会議であったり協議体であったり、それぞれにリンクしている課題ではあると思うのです。その中で言えばケアマネジャーへの指導や育成だけが、高齢者を支える人材を確保・育成するという問題解決のための対応ではないと思います。また、地域包括支援センターのお仕事はそれ以上にたくさんある中で、ケアマネジャーとの連携で深く関わってくださっているところがあるので、やはりおっしゃっていたように重点事業で相談件数が減っていることは、小地域ケア会議で交流が取れているとか、そういった別の施策のところでの評価につながってくるのかなと思いますので、その進捗状況の補足のところでプラスの面をもうちょっと加えてもいいのかなと感じました。例えば、相談件数は減ってきているが別のところで連携が図れているとか、何かプラスの面が一言、二言載っていてもいいのかなと感じました。

本多委員長… 八木委員は何か気がついたこととかありますか。

八木委員… 皆さんがおっしゃっていたところをまとめてみると、施策の方向1の「誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けるために」の指標である地域包括支援センターにおけるケアマネジャー相談対応件数が、施策の方向

を言葉で表現するのがピンとこないなということになると思います。本当にケアマネジャーが誇りとやりがいを持って一緒に働いて良いケアができるようになるためには、地域包括支援センターだけではなく各サービス事業者が携わってケアをしているわけですので、この指標と施策の方向の文言が違うなという印象です。

本多委員長… 確かに地域包括支援センターがケアマネジャーを支援するだけでは一部分で、地域全体のケア力<sup>りょく</sup>とかネットワークとか連携とかも大事ですし。

升田委員… 計画に事業を設定する段階でこういう意見を言っていけば、このようなことは防げる。だから先にやるべきだと思うのですよ。ケアマネジャーの支援というのであれば、ケアマネジャーに対してアンケートを取ってそのときのケアマネジャーの満足度とか、「ここでもっと仕事がしたい」とか「継続してやりたい」と言っているケアマネジャーが増えたとか、そういう指数を取って評価として出してほしいね。就労支援もしていると思うし、一度にはできないけど、いろいろな項目で見直し点があると思うので、それこそ次回に生かしてほしい。

本多委員長… さっき富樫委員がおっしゃったように、ケアマネジャーだけじゃなくてヘルパーも大事だし、訪問看護師も大事だし。

八木委員… ケアマネジャーへの支援であれば、基本目標2の施策の方向1の中で、ケアプランを市と居宅介護支援事業所で一緒に確認するというのがありましたよね。あの評価や指標とつなげるほうがもっと評価しやすい指標になるのではないかなと。支援の対象をケアマネジャーと具体的に書くのでしたら、直接ケアプランを作っていく活動がケアマネジャーへの支援につながるのかなと思います。

本多委員長… いろいろ御意見を頂きました。全体の評価としては意見どおりかなと思いつつも、この重点事業に関して言うと、この相談件数だけでは測りきれないところが主で、その内容としてはケアマネジャー自身の支援のスキルが上がっているから相談件数が減ったということもあるし、この地域包括支援センターだけではないところで、チームアプローチとしてみんなで相談をしながらサポートができたというプラスの側面もあるのではないかなというところが御意見として上がりましたので、その内容は検討委員会意見に上手く載せられればなと思います。また、ほかの評価目標の評価項目のところと連動して考える必要があるのではないかなという御意見も頂きましたし、そもそもケアマネジャーの支援だけでは足りていないというか、それ以外もサポートするべきところはあるという御指摘も頂いたかと思えます。ケアマネジャーだけではなく、介護に携わっている皆さんが国分寺市で仕事を続けていただくということが大事なかなと思います。現場の皆さんには本当にありがとうございます。

では、次に進みます。施策の方向2「介護職の魅力を伝えるために」。  
すごく大事なことです。お願いします。

佐瀬係長… 最後の施策の方向になります。施策の方向2「介護職の魅力を伝えるために」です。50ページを御覧ください。重点事業は一つ、介護・福祉の魅力発信で、幅広い世代、特にまだ介護の仕事に就いていない方に対して介護や福祉の仕事の魅力を発信するというものになります。指標としては介護・福祉の魅力発信となっています。目標値、実績値ともに「構築」となっておりまして、進捗状況としてはBとなっています。下段に取組事業を一つ記載しています。市立中学校の中学生の職場体験で介護職を体験してもらうという事業の取組状況となります。これらの事業の状況を踏まえて、1ページ前の49ページの施策評価票に戻っていただいて、令和3年度の進捗状況評価としては、介護・福祉の魅力発信については市内でのイベントのPRを今後の実施に向けて検討して、職場体験については新型コロナウイルス感染症の影響で最終的に実施はされませんでした。受入れ先への働きかけは行ったことから「おおむね目標どおり進行している。」としています。

施策の方向2「介護職の魅力を伝えるために」についての説明は以上となります。

本多委員長… 御意見があればどうぞ。

升田委員… ①の指標の実績値に「構築」と書いてありますが、進捗状況に関する補足には「チラシ等の配架を実施した」と書いてあります。構築ではなくて、実施とか一部実施でもいいのではないですか。

佐瀬係長… 事務局としては、進捗状況に関する補足の1行目に書いてある市内のイベントにおいてのPRの実施をメインで考えていたので、それがまだ構築の段階だということで構築とさせていただきました。

升田委員… だから一部実施とかでいいじゃないの。

佐瀬係長… そうですね、ほかの部分については確かに実施している部分がありますので。

本多委員長… これは「構築」と書かないと駄目なのですか。

佐瀬係長… そういうわけではないですが、別の言葉にしまうと、もちろん一部実施であれば進んでいるのだなと分かりますが、何か別の言葉にしまうと、進んでいるのか進んでいないのかが分かりづらくなってしまふかなというのも多分あるかと思えます。

升田委員… 日本語として考えたときに、「構築」のほうが分からないと思う。

富井副委員長… お話を伺って、①については、進捗状況に関する補足の後半は都の実施するPR事業の協力をしているものであって、市独自で何かを構築していくというのはやっぱり進捗状況に関する補足の1行目から2行目の話だと

思うのですね。それを考えると正直C評価なのではないかなと。職場体験については新型コロナウイルス感染症の影響で受入れが難しいのはしょうがないと思うのですが、そうするとやっぱり検討内容を伺っても正直C評価ぐらいではないかなと。厳しい意見ですが、そのように感じました。

本多委員長… 東京都のチラシだけ置いておくのでは足りなくて、国分寺市の中でPRできているかと考えるとCではないかということですね。

升田委員… ほんの一部しかできていないという言い方をするとBじゃおかしいということになるよね。一部実施でほぼできているとか半分できているとかいうのだったらBでもいいけど、

佐瀬係長… 令和3年度の目標としてはまだ構築の段階なので、令和3年度に実施をするという目標ではないからというのがあります。

本多委員長… 構築が目標で構築中だからB評価。

佐瀬係長… 令和5年度に実施ができれば、それで100パーセント達成となりますので。

升田委員… 構築という言葉だけじゃなくて、ステップ1、ステップ2と区切って、さらにはこの年度は何をやると書いてあればまだ良いです。だけど、ただ構築と書いてあっても、全然市民に見えないじゃないですか。どこまでが構築でどこまでが構築じゃないのですか。それを見えるようにするのが見える化であって、せっかくこの重点事業で見える化というのだったら、そういう表現に、括弧してでもいいからつけてほしい。そのほうが良いかな。意見も含めて。

本多委員長… 富樫委員や八木委員、現場の仕事で関わっていらっしゃると思いますが、何か御意見があればと思います。

八木委員… 令和3年度だと、いろいろな介護や福祉のイベントを計画していても新型コロナウイルス感染症の影響で中止したことが多かったと思います。本当はそういうイベントの時に、いろいろなサービスはこういうものだよという説明をしようと計画は立てていましたが、そのイベントが中止になってしまい、それができなかったと思います。先ほどのお話でもあったように、進捗状況に関する補足に書いてあるけれども実際はあまりできていない、しかし評価はBというのがちょっと気になります。借りようと思っていた会場が緊急事態宣言で借りられなくなってしまったからとか、そういうシンプルな理由でイベントが中止になったのを実感しているので。そうするとこの進捗状況に関する補足の内容がちょっと優しいかなと思います。

本多委員長… 富樫委員は何かありますか。

富樫委員… 先ほど升田委員もおっしゃっていたように、構築と実施の違いのところになってしまうと個人的な受け止め方ももちろんあると思うのですね。ただこの目標は、介護を担う次の世代、子どもたちに対してもそうなのです。

が、これから担ってもらう方にどれだけPRをしていくか、その体制を構築しているよという目標です。確かに実施はできていないと思うので、構築で言葉としては間違いではないと思います。やっぱりこの目標を重点事業に挙げてくださっているように、取組事業があつての重点事業だと思います。なかなか先が見えないコロナ禍において、ここはやっぱりボランティアたちとの協力で様々な次世代との交流というところで、本当にほかの目標とリンクしてくるところになりますが、こういう下積みがあつてこそ職離れを防ぐことにもつながってくると思います。進捗状況に関する補足に実施を検討しているとありますが、そこに「〇〇委員会設立」みたいなものがあれば、確かに実施に向けて構築しているのだなと、市民の方から見ても目安になるのかなとは思いますが、令和3年度にはそこまで至らないのであれば、もうちょっと詳しく、指標の数字ではなくても、こういう動きをしているのだよという構築に向けての動きが具体的な言葉で見えることより評価しやすいのかなと感じました。

本多委員長… 評価全体は頑張ろうとしているので。

富樫委員… 構築はしているのだと思います。令和3年度は実施に向けての下積みの段階で。

本多委員長… 基本目標5の内容は、介護保険全体の最初に来る目標ではないのかもしれませんが、本当は一番大事な目標で、これはがむしゃらにやらないと。

富樫委員… 今、水面下で頑張ってくださいと、ほかの課と連携して、いろいろ構築して、いろいろPRして、それが表面化されてくるのは、もしかしたらあと2期、3期先のことなのかもしれません。その間に計画策定があるので、また同じようなところをぐるぐると回ってしまうことになりそうですが。やっぱりこの国分寺市の地域性を踏まえて考えると、例えば先ほどの公民館の取組状況のように、公民館によって参加人数もイベントの内容も違いがある。そこに地域性が潜んでいると思われるので、イベントの内容一つとってこれだけ違うということは、それだけ世代が違って見えないところで高齢者たちだけが孤立しかけている地域があるという、その特徴を踏まえて次期計画に生かしていければ良いかなと思います。

本多委員長… 魅力を発信するだけじゃなくて、やっぱり介護職を含む福祉の支援の仕事をしよという人を巻き込んでいかないと。

富樫委員… 常に日常生活の中でそういった環境にいられる状況を周りが整えてあげるとというのが、多分最後の基本目標5に関わってくると思うのですが、そこが今このコロナ禍の状況で難しい、なかなか進まない。でもやっぱり一番大事な基本で、ここがしっかりとできてくると、より明るく住みやすいまちにもなるし、そういった計画自体全体がより進んでいくのかなとは思いますが。

本多委員長… 国分寺市は交通も便利だから、別の市区町村で仕事しやすいところなのですね。でも市民の人が市内で支援や福祉の仕事をする、こんなにも良いことがあるよという何かプラスになるおまけみたいなものがあるとか、あるいはお金とか物ではない魅力があるよということを構築していくことで、国分寺市の福祉人口ではないですが、そういうのが増えると良いなと思います。市だけが考える話ではないと思うのですが、大事な課題だと思いますので、引き続きがむしゃらに頑張ってくださいなと思います。職場体験も子どもたちが福祉や保育や介護の現場に行ったからといって、福祉職・保育職に来るかということそんなに簡単な話じゃないので、魅力をどう伝えるかということやはりみんなで考える必要があるかなと感じます。

富井副委員長… でも、大学の学生に聞くと、御家族の中でそういう関わりがあったというきっかけが一番多いですが、次に挙がってくるのは中学校のときの職場体験、それから高校のときのボランティアがやはり高いですので、これはとても大事な事業ではないかなと思います。

本多委員長… 介護職に興味を持つきっかけの種をまいていただければと思います。よろしくをお願いします。

では、いろいろな御意見を頂きました。これで施策評価は全部終了ということでよろしいですかね。ありがとうございました。

### 3 報告

#### ①介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票（令和3年度）について

本多委員長… 報告の1点目、介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票（令和3年度）について、説明をお願いします。

北田係長… 介護保険事業計画サービス見込量進捗管理票（令和3年度）について御説明させていただきます。

資料2の1ページを御覧ください。認定者数については、計画値5,746人に対して実績値5,711人とほぼ計画どおりの人数になっております。その下の受給者数についてですが、（1）介護サービスにおいて、居宅サービスでは毎月2,900人台、地域密着型サービスは毎月660人前後、施設サービスは毎月600人前後となっております。（2）介護予防サービスにおいては、居宅サービスは毎月500人前後、地域密着型サービスは毎月6人前後となっております。おおむね毎月大きな変動はないということが言えるのではないかと思います。

続きまして2ページに移らせていただきます。こちらの説明をさせていただく前に、昨年度との違いを説明させていただきます。昨年度御質問いただきました「分析」欄について、以前御説明させていただきましたが、



推測の域を出ないところもあります。そのようなことから「分析」という言葉から「説明」と改めさせていただいておりますので、御承知おきいただければと思います。また、この「説明」欄については、令和3年度の差異が計画値に対して10パーセントを超えている、又は10パーセントを下回っている場合に記載しているということで御理解いただければと思います。

それでは中身の説明をさせていただきます。（1）介護サービス給付費の小計は4ページ中ほどの小計（A）になります。（A）の説明にも書かせていただいたのですが、介護サービス給付費全体としては、元年度から3年度にかけて給付費の実績値では増加しており、給付費全体で見ると、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的である可能性が考えられます。

続きまして（2）介護予防サービス給付費についてです。この小計は6ページ中ほどの小計（B）になります。介護予防サービス給付費の実績値は、元年度から3年度にかけて減少していますが、2年度から3年度にかけての減少率は、元年度から2年度の減少率に比べて小さくなっております。ちなみに2年度から3年度の減少率は約2.5パーセント、元年度から2年度の減少率は約4.1パーセントとなっております。

（3）その他の給付費の小計については、同じ6ページの下から2つ目、小計（C）になります。こちらにつきましては元年度から2年度にかけて増加していますが、3年度は減少しています。これは、特定入所者介護（予防）サービス費の3年度の制度改正の影響も考えられるということ「説明」欄に書かせていただいております。

その下の標準給付費につきましては、先ほど申し上げた小計（A）、（B）、（C）を足したものになります。標準給付費全体としては元年度から3年度にかけて、給付費の実績値では増加しています。給付費全体で見ると、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的である可能性が考えられるということに記載させていただいております。

7ページを御覧ください。（4）地域支援事業費につきましては、令和3年度の差異が10パーセントを超えていない又は10パーセントを下回っていないということで説明は省略させていただいております。

その下の（5）市町村特別給付費につきましては、高齢者送迎サービス費については元年度から2年度にかけて減少していますが、3年度は増加に転じています。その下の高齢者緊急ショートステイサービス費につきましては、元年度から2年度にかけて増加しましたが、3年度は減少しています。

以上、非常に簡単ではございますが、説明を終わらせていただきます。

本多委員長… 全体的にいかがでしょうか。何か御意見や質問があればと思いますが。

升 田 委 員… (4)の地域支援事業費が令和3年度は上昇しているのは良いなど。介護予防・日常生活支援総合事業や包括的支援事業・任意事業費が100パーセント使えるようになってきている感じがしているので、良かったかなと思いました。

本 多 委 員 長… 総合事業だから介護予防の外側のサポートのところですね。これがあるから悪くならない、要介護が進まないという人もいるのかもしれないということを勘案すると大事なところかなと。そのほかいろいろなサービスがありました。サービスの種別によって前年度、前々年度との比較や予定していた計画値との割合が案外高かった、ちょっと少なかった、いろいろありますが、新型コロナウイルスの影響は全体で見ると大きな影響はなかったように見えるという説明があったかと思います。

よろしいですかね。このような状況だったということで。この先、実はこの数字から見えてくるのは何かというのは立ち止まって考える必要がある時期が来るのかなと思います。

#### ②第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について

本 多 委 員 長… 報告の2点目、第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について、説明をお願いします。

佐 瀬 係 長… それでは、第8期国分寺市介護保険事業計画施設等整備計画進捗状況について御報告します。

初めに計画書の133ページ、施設等整備計画をご覧ください。こちらが第8期期間中にどのような施設を整備するかという計画になります。第8期は、令和4年度に小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護、それぞれ「小多機」「看多機」と省略しますが、こちらを1事業所、認知症対応型共同生活介護、グループホームですね、こちらを1事業所、令和5年度に介護老人保健施設、「老健」と省略しますが、こちらを1施設、それぞれ整備する計画になっています。御覧のとおり令和3年度には特に事業所を整備する予定を記載していませんが、第7期の列の小多機とグループホームに※印をつけております。こちらは第7期に整備予定となっていて、事業者の選定までは終えていたのですが、新型コロナウイルス感染症の影響で第7期中の整備が間に合わなかったものになりまして、第8期に整備がずれ込むということを下のほうに記載しています。つまり、小多機とグループホームについては、第7期で計画したものと第8期で計画したものをそれぞれ2事業所ずつ開設予定ということがこちらに書いてあります。

こちらの計画に対しての現在の実績を資料3に示しております。こちらの表は入所型施設と地域密着型サービス事業所の整備状況の表となっております。

りますので、事業者を公募して施設整備を行っているもの以外の事業所についても、開設したものについては記載しています。太い黒枠で囲んでいる部分が整備を計画しているものになります。令和3年度には特定施設入居者生活介護事業所が一つ、小多機とグループホームが一つずつ開設しました。この小多機とグループホームについては先ほど説明した中で、第8期ではなくて第7期の計画に基づいて整備したものが、第8期にずれ込んで開設したことを表していますので、第8期計画で整備予定の事業所とは別のものになります。

第8期に整備を計画しているものの進捗状況についてですが、まず、令和4年度に整備を計画している小多機とグループホームについては、昨年度に事業者の選定をしまして、現在東京都と補助金の協議を行っているところになります。補助金の協議が少し長引いてしまっていて、現在の見通しでは令和5年度に開設がずれ込むような状況となっています。また令和5年度に開設予定の老健については、昨年11月9日開催の介護保険運営協議会でも御報告させていただきましたが、昨年度、事業者の公募を行ったものの応募がありませんでした。今年度はいつもよりも応募期間を長めに取って現在再公募を行っております。御報告は以上となります。

本多委員長… 確認なのですが、計画書の133ページに載っている整備計画には第7期のプラス1というのは載っていない。けれども、資料3には第7期の計画で開設予定だったのがもう開設されているから載っていて、一方でこの計画書に載っている施設はまだ開設していないから載っていないということですね。

佐瀬係長… おっしゃるとおりです。

本多委員長… これを重ねてみないと分からないということですね。

佐瀬係長… ちょっと分かりづらくなっていて申し訳ありません。計画書の133ページの整備計画の令和4年度の欄に「1事業所」と書いてある小多機とグループホームについては、これから整備する予定になっているもので、資料3に記載している令和3年度に開設した小多機とグループホームについては、第7期の計画で開設を予定していたものが、第8期で開設できたというものになります。

本多委員長… 資料3は進捗状況の資料なので、令和4年度や5年度に開く施設は載っていないということですね。小規模多機能型居宅介護とグループホームは令和5年度に開設するのではないかとというのが進行しているというのが一つと、老健は募集をかけても全然来ないから今、絶賛募集中というところを御説明いただきました。何か御意見、感想、質問ありますか。

升田委員… この事業計画を作るに当たって高齢者人口の割合を調べていると思いますが、市民が市内の施設を使う率はどれくらいなのか。現在でも満床

になっていない施設は結構ありますよね。市民が市内の施設を利用するのか、ほかに行ってしまうのか。その辺りの見込みはどうやってやるのかなと思って。施設の数を増やすのも良いのですが、質をちゃんとレベルアップしておいてほしい。みんなが「国分寺市の施設はいいよ、みんな行きたいよ」という感じになってくれると。民間の施設評価はいろいろ出ておりますが、数もあるけど利用者が本当に選ぶような施設にしてほしい。そういう業者を選んでほしいし、そういう指導をしてほしい。

本多委員長…何かありますか。

佐瀬係長…第6期からほぼ同様の整備計画にはなっているのですが、市として整備を計画しているのが老健とグループホーム、小規模多機能になります。老健については、いずみプラザの建物内にあるすこやかと、すぐそこにあるにんじん健康ひろばの2施設しか市内にないんですね。やはりこちらはリハビリを受けて在宅復帰を目指す施設になりますので、市としても重要視しておりますし、もちろん需要もそれなりにあると認識しているところで。また、グループホームについては地域密着型サービスになりますので、基本的には市内の方が利用される施設になります。ただ、今のところ施設整備をした施設については、基本的に開設したらほぼ満床にはなっているかなという認識です。

本多委員長…入居の状況については、介護保険制度に位置付けられた施設と介護保険を利用した有料施設とではまた少し違ってくるのかなと思います。

ただ、質を高めるのは大事なことだと思うので、この計画だけで先ほどまでのいろいろな計画が立体的に関わっている、そういう下支えになってくれればなと思います。

#### 4 閉会

本多委員長…予定していた議題は以上です。多くの御意見を頂いてありがとうございました。

では、以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。